

令和 5 年度事業報告

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

岳南法人会は平成 25 年 4 月 1 日より一般社団法人としてスタートいたしました。事業展開にあたっては、当初定めた「公益目的支出計画」に則り、公益法人制度改革の原点である「税」に軸足を置き、会員以外にも対象を広げ「納税意識の向上」「税制への建設的提言」「自己研鑽機会の提供」「地域社会への貢献」などの活動を展開いたしました。

1. 組織の充実・強化

- (1) 本年も会員増強については、9 月から 12 月までの会員増強期間中に本会、支部、部会が一体となって取り組み、支部役員一人一社の新会員獲得を目標に掲げ 134 社の獲得目標及び対前年 12 月末比純増 1 社の目標設定をいたしました。

結果は令和 6 年 3 月末までに 103 社（前年度 106 社）の獲得となりました。しかしながら、厳しい経済環境により解散・廃業・退会等による脱会は 152 社（前年度 140 社）ありました。3 月末会員数は 3,815 社（前年度 3,864 社）と前年を大きく下回りましたが、各支部、関係金融機関、保険会社の努力と協力に感謝いたします。

- (2) 青年部会・女性部会は、役員及び委員会を基軸に本会との連携を密にして租税教室を実施し、子供たちに税の大切さを学んでもらいました。「チャリティーコンサート」「夏休み親子税金教室と感動映画上映」「税に関する絵はがきコンクール」「スポーツ交流会」「税務研修会」等に積極的に参加し、活発な事業活動が展開され会員相互の啓発・意識の向上が図られました。
- (3) 組織の充実・強化を図る施策「福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン“Challenge100”」は保険会社 3 社と協力し、実績を残すことができました。

2. 地域社会貢献活動の推進

地域社会貢献活動の一環として「夏休み親子税金教室と感動映画上映」が 4 年振りに開催され、岳南法人会チャリティーコンサートは令和 6 年 2 月 10 日に富士ロゼシアター（中ホール）に「宇崎竜童」を迎えて開催され、盛況裡に行われました。

収益金の一部とチャリティー募金の合計金額 520 千円を、富士市・富士宮市の社会福祉協議会へ、また、能登半島震災義援金として寄付し善意を評価されました。

各種講演会では会員以外にも参加を呼びかけ、多くの人に参加していただきました。

3. 研修活動の充実強化

「経営セミナー」「税制改正説明会」「新設法人説明会」「年末調整説明会」「速修経理実務講習会」等を実施し、参加人員の増加・充実強化を図り、会員・会員外の多くの参加がありました。

地区協議会・部会において税務研修会を開催、また支部では視察研修旅行等が開催されました。

4. 税制改正への対応

税制委員会を中心に「令和6年度税制改正要望事項」を取り纏め、日本経済の活性化を目指し、社会保障と税の一体改革の推進、法人税の引き下げ、行財政改革の推進等を課題として全法連を通じ関係方面に強く要望すると共に、富士市長、富士宮市長、富士市議会議長、富士宮市議会議長に陳情を行いました。

5. 租税教育活動

青年部会を中心に、次世代を担う子供達に税の大切さを認識してもらう為に出前の「租税教室」を、令和5年5月16日に富士市立富士南小学校6年生4クラス、令和5年5月22日に富士市立富士第一小学校6年生4クラス、令和5年6月5日に富士市立今泉小学校6年生3クラス、令和5年6月9日に富士市立元吉原小学校6年生2クラス、令和5年7月4日に富士宮市立富士見小学校6年生2クラスにて開催しました。

女性部会においては、「税に関する絵はがきコンクール」作品を募集し1,116点の応募があり、最優秀作品賞、富士税務署署長賞、富士財務事務所所長賞、富士市長賞、富士宮市長賞、部会長賞、入選作品が選ばれ確定申告会場・金融機関ロビーで展示しました。

最優秀作品賞・富士税務署署長賞において、当該小学校にて表彰式を行いました。

6. 広報活動の充実

会員以外も視野に入れた効果的な「税の啓発」に役立つ広報活動を展開し、会報誌「がくなん」も第171号・172号を発刊することができました。

また、インターネットセミナー・オンデマンド、e-Taxの普及をアピールし、ホームページからの会員・一般に向けた広報活動の場としました。

7. 福利厚生制度の推進

「福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン“Challenge100”」の積極的な推進を図りました。